

Doc 858 - J1

Ex. 44

佛領印度支那及泰國間ノ停戦ニ關スル協定

日本帝國政府ハ佛領印度支那及泰國間ノ紛争ヲ成ル
ヘク速カニ終熄セシムル爲調停ヲ提議シタル處佛國
及泰國政府ハ右提議ヲ承諾シタリ依テ右三國政府ハ
夫々其ノ全權委員ヲ任命シ右委員ハ左ノ諸條ヲ協定
シタリ

第一條

佛領印度支那泰國兩國陸軍軍隊ハ昭和十六年一月二十
八日午前十時（地方時間）ニ於ケル實際ノ位置ヨリ
原則トシテ夫々十軒後退スルモノトス
即テ兩國軍隊ハ夫々左記ノ地線又ハ地點ニ後退スル
モノトス

記

佛領印度支那側

1. Pailin
2. Sré Anteak
3. Ph. Dong
4. Kh. Damnak Preas Ang
5. Kh. Samrong - Kh. Svay Chek
6. Kandol
7. Ampil

泰國側

1. Bar Tang Su
2. Komrieng Krom
3. Ph. Dong
4. Ph. Vang Smak
- トノ間ニ於テハ昭和十六
年一月二十八日午前十時（地方時間）占領シアル
主陣地ヲ保持スルモ前進部隊ハ後退スルモノトス
6. Rolom Beng 附近國境
7. Ampil 北方國境

ノ西方三十
ノ地點

Doc 858 - 1

Ex. 44

佛領印度支那及泰國間ノ停戰ニ關スル協定

日本帝國政府ハ佛領印度支那及泰國間ノ紛争ヲ成ル
ヘク速カニ終熄セシムル爲調停ヲ提議シタル處佛國
及泰國政府ハ右提議ヲ承諾シタリ依テ右三國政府ハ
夫々其ノ全權委員ヲ任命シ右委員ハ左ノ諸條ヲ協定
シタリ

第一條

佛領印度支那泰國兩國陸軍軍隊ハ昭和十六年一月二十
八日午前十時（地方時間）ニ於ケル實際ノ位置ヨリ
原則トシテ夫々十軒後退スルモノトス
即チ兩國軍隊ハ夫々左記ノ地線又ハ地點ニ後退スル
モノトス

記

佛領印度支那側

1. Pailin
2. Sré Anteak
3. Ph. Dong
4. Kh. Damnak Preas Ang
5. Kh. Samrong - Kh. Svay Chek
6. Kandol
7. Ampil

泰側

1. Bar Tang Su
2. Komrieng Krom
3. Ph. Dong
4. Ph. Vang Smak

ノ西方三十軒
ノ地點

トノ間ニ於テハ昭和十六
年一月二十八日午前十時（地方時間）占領シア
主陣地ヲ保持スルモ前進部隊ハ後退スルモノトス
6. Rolom Beng 附近國境
7. Ampil 北方國境

Doc 758 - P 2

8. Chong Kal
9. Anlong Veng
10. Cheom-Ksan
11. S. Trap Klol
12. S. Trap Klol ヲリ
 廣東 Pakse 州境ニ到
 リ爾後同州境界ヲ境
 界トシ Mekong 河岸
 ニ到ル
13. Mekong 河ノ最西
 方ノ水流ノ左岸
14. アイデ Moulapamok
 ノ北方ニ於ケル
 Mekong 河左岸

8. Samrong (Chong Kal 北方)
9. Anlong Veng 北方國境
10. Cheom-Ksan 北方國境
11. Col de Preach Chambok
12. Col de Preach Chambok ヲリ
 Moulapamok .ニ亘ル
 線北方十軒ノ線
13. Mekong 河ノ最西方ノ水
 流ノ右岸
14. アイデ Moulapamok
 ノ北方ニ於テ Nam-Poui
 川ノ合流點ニ到ル間ノ
 Mekong 河右岸 Nam-Poui
 川ノ水流次ニ國境

兩國ノ領域ニシテ相互ノ軍隊ニ依リ永久的ニ占領セ
 ラレス且一月二十八日午前十時（地方時間）ニ於テ
 相手國ヨリ侵略セラレアラサルモノハ何レノ國ヨリ
 モ軍事的ニ占領セラレサルハ勿論トス
 佛領印度支那軍ノ後退セル諸點ヲ連ヌル線ト泰軍ノ
 後退セル諸點ヲ連ヌル線トノ中間ニ引カレタル第三
 線ハ Cambodge ニ於テ兩國政府警察權行使ノ限界ヲナ
 スモノトス

Mekong 河右岸ノ南 Laos 地方ニ於テハ Col de Préach Chanhok
 ト Moungparak トヲ連ヌル線以北ニ於テハ其ノ警察權
 ハ泰國官憲ニ依リテ行使セラレ該線以南ニ於テハ佛
 領印度支那官憲ニ依ツテ行使セラルヘキモノトス
 Mekong 河右岸ノ北 Laos 地方ニ於テハ Nam-Pou 川以南
 ニ於テハ其警察權ハ泰國官憲ニ依ツテ行使セラレ該
 川以北ニ於テハ佛領印度支那官憲ニ依テ行使セラル
 ヘキモノトス

前記警察權行使區域内ニ於テハ兩國政府ハ單ニ拳銃
 ノミヲ以テ武裝シタル軍人ニアラサル警察官ノミ駐
 屯セシメ得ルモノトス

第二條

兩國ノ海軍艦船ハ相互ニ左記ノ線ヲ通過セサルモノ
 トス

記

暹羅灣海岸ニ於ケル兩國國境標柱ト、東經百二度四
 十分ト北緯十一度トノ交會點トヲ結フ線及該交會點
 以南ハ該交會點ヲ通スル經度ニ應スル線

第三條

兩國ノ一方ノ軍用飛行機ハ他方ノ領空ヲ犯サス且ツ
 前記第一條第二項及第二條ニ依リ決定セラレタル線
 ノ後方更ニ十軒ニ割セラレタル線ノ前方ニ進出セサ
 ルモノトス

Doc 858-P4

EX. 48

第四條

前諸項ニ規定セラレタル軍隊ノ撤退ハ停戦協定署名
調印ノ時日ヨリ七十二時間以内ニ完了セラルヘキモ
ノトス

第五條

右ノ外兩國軍隊ハ紛争再發ノ虞アル一切ノ軍事行動
ヲ停止スルモノトス

第六條

停戦ハ昭和十六年一月二十八日ヨリ起算シ二週間ト
シ右期間終了前ニ紛争ノ終局的解決條件ヲ取決メラ
ルヘキモノトス尤モ前記期間内ニ紛争ノ終局的解決
ヲ見サルトキハ停戦ノ状態ハ關係三國政府ノ共同ノ
合意ニ依リ延長スルコトヲ得

第七條

帝國委員ハ停戦協定ニ署名調印シ且ツ停戦ニ關スル
諸規定ノ實行ヲ監督スルモノトス

第八條

兩國政府ハ停戦監督ニ關スル日本委員ノ任務遂行ニ
關シ一切ノ便宜ヲ與フルモノトス

第九條

相互ノ俘虜ハ紛争ノ決定的解決ニ關スル協定ノ署名
調印後直ニ返還セラルヘキモノトス

第十條

Doc 258-P5

本協定ハ日本語、佛語及泰語ヲ以テ作成ス、右三國
語本文ノ間ニ解釋ヲ具ニスルトキハ日本文本文ニ據
ルモノトス

昭和十六年一月三十一日西貢ニ於テ之ヲ作成ス

(全權委員氏名省略)

RECEIVED
10 NOV 1941
COB